

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】平成21年1月8日(2009.1.8)

【公表番号】特表2008-520815(P2008-520815A)
 【公表日】平成20年6月19日(2008.6.19)
 【年通号数】公開・登録公報2008-024
 【出願番号】特願2007-543206(P2007-543206)
 【国際特許分類】

C 0 8 J 7/06 (2006.01)
 B 3 2 B 27/28 (2006.01)
 C 0 8 L 23/08 (2006.01)
 C 0 8 L 45/02 (2006.01)
 C 0 8 L 25/10 (2006.01)
 B 6 5 D 65/02 (2006.01)
 B 6 5 D 65/40 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 J 7/06 C E S D
 B 3 2 B 27/28 1 0 1
 C 0 8 L 23/08
 C 0 8 L 45/02
 C 0 8 L 25/10
 B 6 5 D 65/02 E
 B 6 5 D 65/40 D

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月13日(2008.11.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

界面活性剤または界面活性剤の残分で被覆されたフィルムであって、
 前記フィルムがエチレンコポリマーまたは変性エチレンコポリマーおよび粘着性付与剤を
 含むか、またはそれらから製造され、
 前記エチレンコポリマーがエチレンとモノマー約5～約50重量%とから誘導された反復
 単位を含むコポリマーまたはターポリマーあるいはテトラポリマーであり、
 前記モノマーが酢酸ビニル、ビニルアセテート、プロピオン酸ビニル、アクリル酸、メタ
クリル酸、エタクリル酸、ビニルアセテート、メチルアクリレート、エチルアクリレ
ート、メチルメタクリレート、エチルメタクリレート、プロピルアクリレート、プロピルメ
タクリレート、イソプロピルアクリレート、イソプロピルメタクリレート、ブチルアクリレ
ート、ブチルメタクリレート、イソブチルアクリレート、イソブチルメタクリレート、t
-ブチルアクリレート、t-ブチルメタクリレート、オクチルアクリレート、オクチルメ
タクリレート、ウンデシルアクリレート、ウンデシルメタクリレート、オクタデシルアク
リレート、オクタデシルメタクリレート、ドデシルアクリレート、ドデシルメタクリレ
ート、2-エチルヘキシルアクリレート、2-エチルヘキシルメタクリレート、イソボル
ニルアクリレート、イソボルニルメタクリレート、ラウリルアクリレート、ラウリルメタク
リレート、2-ヒドロキシエチルアクリレート、2-ヒドロキシエチルメタクリレート、

グリシジルアクリレート、グリシジルメタクリレート、ポリ(エチレングリコール)アクリレート、ポリ(エチレングリコール)メタクリレート、ポリ(エチレングリコール)メチルエーテルアクリレート、ポリ(エチレングリコール)メチルエーテルメタクリレート、ポリ(エチレングリコール)ベヘニルエーテルアクリレート、ポリ(エチレングリコール)ベヘニルエーテルメタクリレート、ポリ(エチレングリコール)4-ノニルフェニルエーテルアクリレート、ポリ(エチレングリコール)4-ノニルフェニルエーテルメタクリレート、ポリ(エチレングリコール)フェニルエーテルアクリレート、ポリ(エチレングリコール)フェニルエーテルメタクリレート、ジメチルマレエート、ジエチルマレエート、ジブチルマレエート、ジメチルフマレエート、ジエチルフマレエート、ジブチルフマレエート、ジメチルフマレエートまたはそれらの2種以上の組み合わせであり、

前記粘着性付与剤がパラ-クマロン-インデン樹脂、テルペン樹脂、ブタジエンスチレン樹脂、ポリブタジエン樹脂、炭化水素樹脂、ロジンまたはそれらの2種以上の組み合わせを含み、

前記モノマーがビニルアルカン酸、アクリル酸、アルキルアクリル酸またはアルキルアクリレートあるいはそれらの2種以上の組み合わせであり、前記モノマーが約20個以下の炭素原子を含み、

前記界面活性剤がアルカン酸またはそのアンモニウム塩または金属塩、アルカノール、アルコキシル化合物、第四アンモニウム塩、アルカリ金属アルキルスルフェート、アルカリールスルホン酸のアルカリ金属塩、1-アルキルピリジニウム塩またはそれらの2種以上の組み合わせであり、

前記界面活性剤または界面活性剤の残分対前記エチレンコポリマーの重量比が0.001:1~1:1または0.001:1~0.5:1あるいは0.001:1~0.1:1であるフィルム。

【請求項2】

前記フィルムがシーラント層を更に含み、前記界面活性剤または界面活性剤の残分が前記シーラント層の中に存在し、前記粘着性付与剤がクマロン-インデン樹脂、テルペン樹脂、ブタジエンスチレン樹脂、ポリブタジエン樹脂、炭化水素樹脂、ロジン材料またはそれらの2種以上の組み合わせを含み、前記界面活性剤がアルカノール、アルカン酸または前記酸の金属塩またはエステルである、請求項1に記載のフィルム。

【請求項3】

前記界面活性剤がソルビタン脂肪酸エステル、グリセロールモノステアレート、グリセロールモノオレエート、脂肪アルコールまたはそれらの2種以上の組み合わせであり、前記フィルムがナイロン、ポリプロピレン、ポリエチレン、イオノマー、酸コポリマー、ポリエチレン酢酸ビニル、ポリエチレンテレフタレート、ポリスチレン、ポリエチレンビニルアルコール、ポリ塩化ビニリデンまたはそれらの2種以上の組み合わせを含むか、またはそれらから製造されている追加の層を任意に含む、請求項1または2に記載のフィルム。

【請求項4】

前記フィルムがエチレン酢酸ビニルコポリマー約50~約90重量%とイオノマー約5~約40重量%と滑剤および粘着防止剤を含有するエチレン酢酸ビニルコポリマーマスターバッチ約5~約10重量%とのブレンドである前記変性エチレンコポリマーを含むか、または前記変性エチレンコポリマーから製造される、請求項1に記載のフィルム。

【請求項5】

請求項1~4のいずれか一項に記載のフィルムで覆われている開口端を含む容器であって、農産物、肉、加工調理済み食品または魚類を任意に含む容器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 6 0 】

ポリマー	コート (%)	セル	2 時間	4 時間	6 時間	24 時間	48 時間	15 日
EVA	5	100	6	5	5	5	5	5
EVA	7	200	6	6	6	6	5	5
EVA	5	100	5	4	4	3	3	3
EVA	7	200	5	4	4	3	3	3
EMA	5	100	5	5	5	4	4	4
EMA	7	200	5	5	5	5	5	5
EMA	5	100	1	1	1	1	3	3
EMA	7	200	1	1	1	1	3	3
EMA	5	100	6	5	5	5	5	5
EMA	7	200	6	5	5	5	5	5

次に、本発明の好ましい態様を示す。

1. 界面活性剤または界面活性剤の残分で被覆されたフィルムであって、前記フィルムがエチレンコポリマーまたは変性エチレンコポリマーおよび粘着性付与剤を含むか、またはそれらから製造され、前記エチレンコポリマーがエチレンと極性モノマー約 5 ~ 約 50 重量%とから誘導された反復単位を含むコポリマーまたはターポリマーあるいはテトラポリマーであり、前記粘着性付与剤がパラ-クマロン-インデン樹脂、テルペン樹脂、ブタジエンスチレン樹脂、ポリブタジエン樹脂、炭化水素樹脂、ロジンまたはそれらの 2 種以上の組み合わせを含み、前記モノマーがビニルアルカン酸、アクリル酸、アルキルアクリル酸またはアルキルアクリレートあるいはそれらの 2 種以上の組み合わせであり、前記モノマーが約 20 個以下の炭素原子を含むフィルム。

2. 前記モノマーが酢酸ビニル、ビニルアセテート、プロピオン酸ビニル、アクリル酸、メタクリル酸、エタクリル酸、ビニルアセテート、メチルアクリレート、エチルアクリレート、メチルメタクリレート、エチルメタクリレート、プロピルアクリレート、プロピルメタクリレート、イソプロピルアクリレート、イソプロピルメタクリレート、ブチルアクリレート、ブチルメタクリレート、イソブチルアクリレート、イソブチルメタクリレート、t-ブチルアクリレート、t-ブチルメタクリレート、オクチルアクリレート、オクチルメタクリレート、ウンデシルアクリレート、ウンデシルメタクリレート、オクタデシルアクリレート、オクタデシルメタクリレート、ドデシルアクリレート、ドデシルメタクリレート、2-エチルヘキシルアクリレート、2-エチルヘキシルメタクリレート、イソボルニルアクリレート、イソボルニルメタクリレート、ラウリルアクリレート、ラウリルメタクリレート、2-ヒドロキシエチルアクリレート、2-ヒドロキシエチルメタクリレート、グリシジルアクリレート、グリシジルメタクリレート、ポリ(エチレングリコール)アクリレート、ポリ(エチレングリコール)メタクリレート、ポリ(エチレングリコール)メチルエーテルアクリレート、ポリ(エチレングリコール)メチルエーテルメタクリレート、ポリ(エチレングリコール)ベヘニルエーテルアクリレート、ポリ(エチレングリコール)ベヘニルエーテルメタクリレート、ポリ(エチレングリコール)4-ノニルフェニルエーテルアクリレート、ポリ(エチレングリコール)4-ノニルフェニルエーテルメタクリレート、ポリ(エチレングリコール)フェニルエーテルアクリレート、ポリ(エチレングリコール)フェニルエーテルメタクリレート、ジメチルマレエート、ジエチルマレエート、ジブチルマレエート、ジメチルフマレート、ジエチルフマレート、ジブチルフマレート、ジメチルフマレートまたはそれらの 2 種以上の組み合わせであり、好ましくは、ビニルアセテート、アクリル酸、メタクリル酸またはアルキル(メタ)アクリレートである、上記 1 に記載のフィルム。

3. 前記粘着性付与剤がクマロン-インデン樹脂、テルペン樹脂、ブタジエンスチレン樹脂、ポリブタジエン樹脂、炭化水素樹脂、ロジン材料またはそれらの 2 種以上の組み合わ

せを含む、上記 1 に記載のフィルム。

4. シーラント層を更に含む、上記 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のフィルム。

5. 前記界面活性剤または界面活性剤の残分が前記シーラント層の中に存在する、上記 4 に記載のフィルム。

6. ナイロン、ポリプロピレン、ポリエチレン、イオノマー、酸コポリマー、ポリエチレン酢酸ビニル、ポリエチレンテレフタレート、ポリスチレン、ポリエチレンビニルアルコール、ポリ塩化ビニリデンまたはそれらの 2 種以上の組み合わせを含むか、またはそれらから製造されている追加の層を含む、上記 1 ~ 5 のいずれか一項に記載のフィルム。

7. 前記フィルムがエチレン酢酸ビニルコポリマー約 50 ~ 約 90 重量%とイオノマー約 5 ~ 約 40 重量%と滑剤および粘着防止剤を含有するエチレン酢酸ビニルコポリマーマスターバッチ約 5 ~ 約 10 重量%とのブレンドである前記変性エチレンコポリマーを含むか、または前記変性エチレンコポリマーから製造される、上記 1 ~ 6 のいずれか一項に記載のフィルム。

8. 上記 1 ~ 7 のいずれか一項に記載のフィルムで覆われている開口端を含む容器であって、農産物、肉、加工調理済み食品または魚類を任意に含む容器。

9. 上記 3 に記載の界面活性剤を溶媒に溶解させて界面活性剤溶液を製造する工程と、上記 1 ~ 7 のいずれか一項に記載のフィルム上に前記界面活性剤溶液を被着させて前記フィルム上に被膜を作る工程と、任意に前記被膜を硬化させる工程とを含む方法。